

# マネックス証券株式会社 株主懇談会



# 2004年3月期の経営重点課題

## ● 現状認識

前提： 世界的デフレ傾向の継続、地政学的不透明さ  
政治混乱による問題解決の遅さなど

⇒株式市場には現在、明るい兆しが見えているが、  
再び低迷し、構造改革も当面起きない可能性がある

課題： 早期黒字化の達成による経営基盤の強化  
企業価値の上昇



# 2004年3月期の経営重点課題

- 経営重点課題

1. 収益の拡大
2. 収益源の多様化
3. 財務体質の強化
4. 信用・信頼の確立



# 2004年3月期の経営重点課題

## 1. 収益の拡大

⇒株式約定件数の増大を図る

- ロングショートモデルなどの新投資手法
- 勉強会の多数開催
- 信用取引の携帯電話サービス導入(予定)
- 約定メールや条件付き注文導入(検討中)



# 2004年3月期の経営重点課題

## 2. 収益源の多様化

⇒国内株式市場の影響を受けにくい収益源の追求

- ユーロMMF、ユーロ株式ファンド、中国株ファンド
- トヨタアセット・バンガード海外株式ファンド
- 外貨建て債券
- 貸株サービスの拡大
- 外国為替取引ーマネックスFX



# 2004年3月期の経営重点課題

## 3. 財務体質の強化

- システム関連を中心にコスト削減
- 貸株サービスの効果（資金の有効活用）



# 2004年3月期の経営重点課題

## 4. 信用・信頼の確立

- 顧客サービスの充実
- ディスクロージャーの徹底
- 広報活動



# 成長戦略





# 成長戦略

## 1. 高稼働顧客の囲い込み戦略

⇒ 高稼働顧客の流出を防ぐ

- 定額手数料
- 信用取引の携帯電話サービス(予定)
- 情報サービスの拡充
- ロング・ショートモデルなどの新投資手法



# 成長戦略

## 2. 広範な顧客層の獲得

⇒ フルサービス オンライン証券

- 外国為替取引
- 外貨建て債券、個人向け国債
- 多様な投資信託の投入
- ブランド戦略の拡充



# 直近の実績

## 6月中旬までの業況

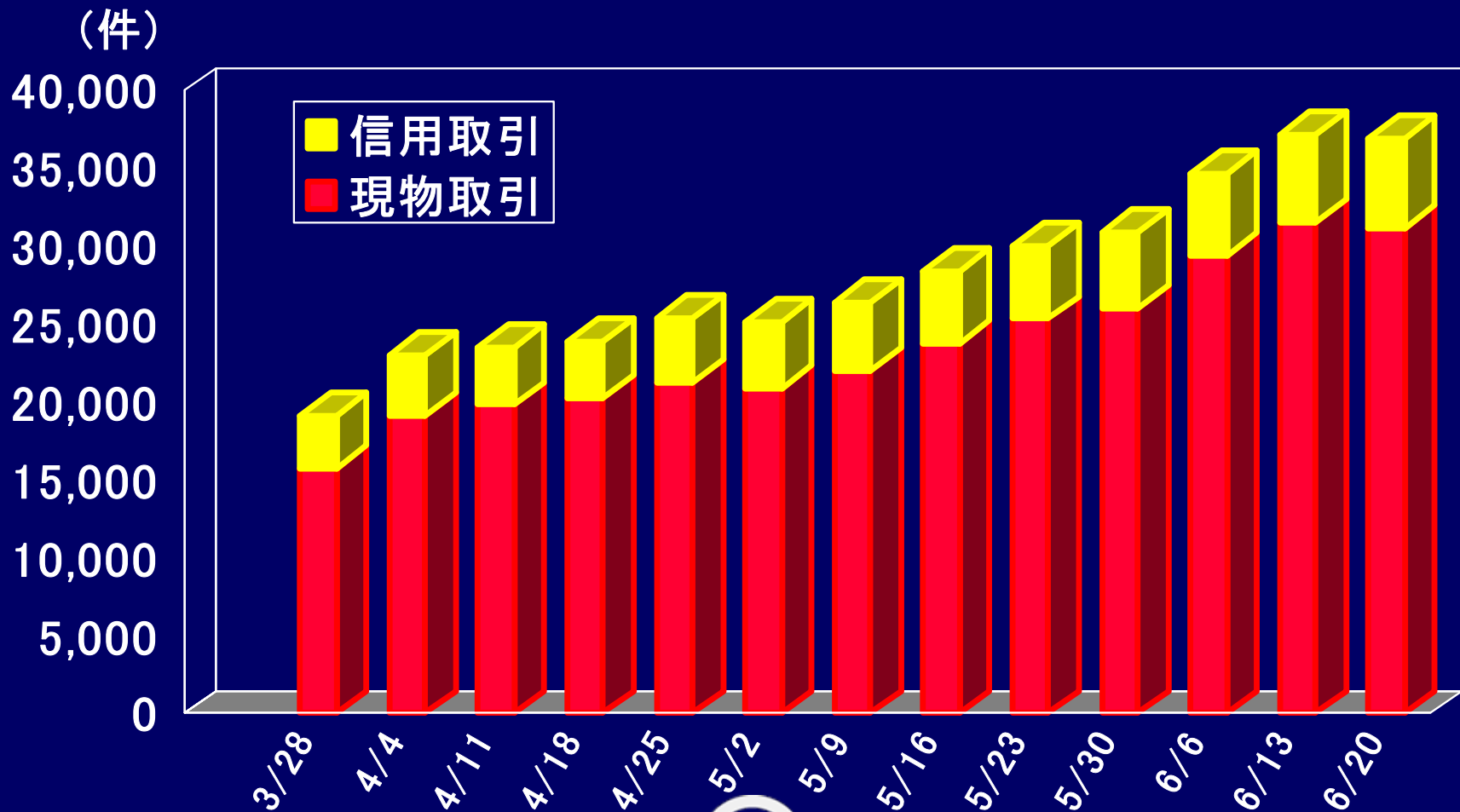
- 株式約定件数は現物・信用ともに順調に推移
- 金融収支、外国為替取引手数料などの増加

## 要因

- 株式市場の活況とキャンペーン施策の成果
- 貸株サービス、マネックスFXなど新サービスの成果



# 株式委託・注文件数推移



# 今後のイメージ

様々な  
リスク特性  
商品の  
提供



- フルサービス・オンライン証券として郵便局に代わる国民的金融インフラを目指す
- 多様な市場環境におけるビジネスリスクを分散する



現在

サービスの拡大

